

今月のスター!

ケイト アリス ガーネット Kate Alice Garnett



アメリカのコネチカット州から来たケイト先生は京丹後市で3年間英語を教えてきました。現在弥栄中学校、弥栄小学校、吉野小学校、島津小学校で英語を教えています。大学の時は英語で日本の作家について勉強していました。小野小町の詩、大江健三郎、多和田葉子の作品が好きになり、その作者たちの出身国である日本について興味が湧いて来日しました。



ケイト先生のお勉強



ケイト先生(左)とジェシー先生(右)



Q: 日本に来る前は何をされてましたか?

A: 英語と作文 (Writing) の学位を持っていて、日本に来る前は雑誌の編集者をしていました。

Q: 暇な時はどうしていますか?

A: 暇な時は本を読んだりボランティア活動に参加しています。言語、異なる文化、ジェンダー研究、世界史、政治の本についてすごく興味があります。「言語教育・文化・読み書きの能力」をテーマにした修士号を持っているので、現在の英語教育についても研究しています。

Q: 今の夢は何ですか?

A: 戦争のせいでたくさんの人々が苦しんでいます。その結果の1つは難民が増えつつあるということです。難民や移民たちが違う国に行き、全く知らない環境の中で生活しなければなりません。そんな人や家族たちが円滑に新しい環境に移って住むことができるように力になりたいです。

Q: 日本のどこが好きですか?

A: 一番好きな京丹後市を除いて、「福井県立恐竜博物館」が好きです。小さい頃の夢は古生物学者になることでした。恐竜について学び、地球に関する仕事をしたいです。主人のジェシー(丹後中学校の「ALT」)が毎年の結婚記念日に連れて行ってくれます。

ケイト先生の好きななぞなぞです!

オイティフス王からのなぞなぞです。君は解けるかな...

「朝には4つの足で歩き、昼間は2つの足で、晩には3つの足で歩きます。その生物は何ですか?」

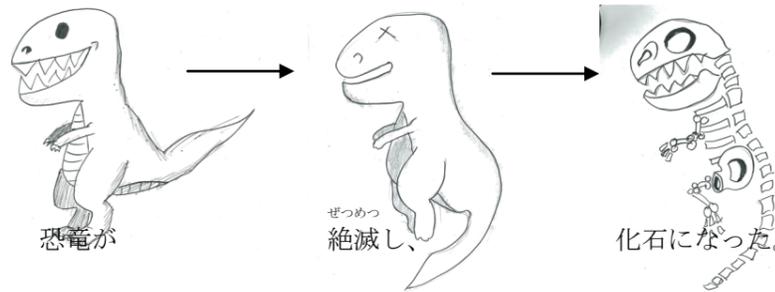


祝卒業

卒業生の皆さん、おめでとうございます。小学校の六年間、中学校の三年間、本当にお疲れ様でした。これからは違う環境になりますが、どうか仲間たちと一緒に勉強や部活をし、学校で学んだことを活かしてください。学校で学んだことが自分の成長につながりますように願っています。

古生物学とは:

過去に生きていた生物(恐竜など)を研究し、過去に生きてきた生物の全貌を明らかにする学問です。古生物が私たちの目の前に現れる方法は化石しかないです。そのうえ、きれいに残る確率は非常に低いです。それでも古生物学者たちは化石を研究し、わずかな手がかりから、生命とは何か? 進化とは何か? どんな自然史があったのか? を明らかにすることを努力しています。



知っていますか?

恐竜は遙か昔に生きていましたが、今はもういません。ですが私たちの周りには何億年も生き続けている生物がいます。いくつかを紹介したいと思います。

クラゲ (5億年)

水族館で人気を集めているクラゲは、5億年前の化石が発見されています。しかし学説によっては10億年前からほぼ同じ姿で存在しているといわれています。クラゲは神経はあるものの、頭はないです。驚くことに、クラゲは自己再生機能を持ち、半分に切られたら2匹になります!



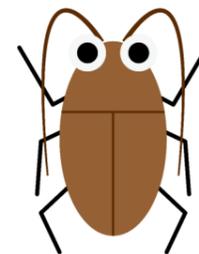
カブトガニ (4億年)

4億年前から存在する、カブトガニは長年の月日を越えて2019年の今でも生きています。カブトガニの血液は現代医学にすごく貢献しています。カブトガニにはたくさんの目があり、それらを研究することで人間の目についても深く理解することができました。



ゴキブリ (3億年)

身近な存在だけど、身近にいて欲しくないゴキブリは、「生きた化石」といわれ、昔から形が変わらぬままに3億年も過ごしてきました。彼らはほぼ何でも食べられます。食に困らないゴキブリはすごい生命力を持った生き物です。



ワニ (2.5億年)

恐竜と同じ時から存在してきたワニは、今も動物界の肉食強者として恐れられています。2.5億年前ほど大きくはないですが、今のワニは最長6メートルまで成長します。ワニに口を開かせないことは意外と簡単です。なわ1本だけでも十分です。



昔のワニの骸骨